

平成 24 年度 第 9 回治験審査委員会開催記録の概要

1. 開催年月日 平成 24 年 12 月 12 日 (水) 18 : 20 ~ 19 : 10
2. 開催場所 2 階応接室
3. 出席者 根来臨床試験管理室長、井口副院長、坂上管理局長、近藤副院長、松井総務部長、奥川薬剤部長、辻本薬剤部次長、松尾検査技師長、浜田弁護士 (外部委員)
4. 審議事項 出席者数により治験審査委員会の成立が確認された後、順次申請事項について審議された。

(1) 審議案件

【新規・変更・その他】

- ① 研究名 : 日本イーライリリー(株)の依頼による第 II 相試験
 - ・ 審議内容 : 同意説明文書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・ 判定 : 承認

- ② 研究名 : 中外製薬(株)の依頼によるベバシズマブとプラチナ併用化学療法後に増悪を来した非小細胞肺癌(扁平上皮癌を除く)を対象とした標準治療+/-ベバシズマブ併用治療の有効性及び安全性を比較する非盲検ランダム化第 III 相製造販売後臨床試験
 - ・ 審議内容 : 試験実施計画書 国内追加事項の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・ 判定 : 承認

- ③ 研究名 : ファイザー(株)の依頼による PF-04691502, PF-05212384 の第 II 相試験
 - ・ 審議内容 : 同意説明文書、治験参加カードの変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・ 判定 : 承認

- ④ 研究名 : (株)ヤクルト本社の依頼による胃癌患者を対象とした L-OHP の第 III 相試験
 - ・ 審議内容 : 治験薬概要書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 - ・ 判定 : 承認

- ⑤ 研究名 : ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌(NSCLC)患者を対象として PF-02341066 を投与した場合の有効性と安全性を評価する非盲検、単群、第 2 相試験
 - ・ 審議内容 : 重篤な有害事象に関する報告書 (2012.11.26) に基づき、引き続き治験を実施する

ことの妥当性について審議した。

・判定：承認

⑥研究名：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)の依頼による1次、2次または3次治療後に再発もしくは増悪した、日本人のプラチナ製剤感受性を有する進行上皮性卵巣癌、卵管癌または腹膜癌患者を対象とした、BIBF1120の併用第I相試験

・審議内容：治験中止報告書(2012.11.28)により、治験の中止が報告された。

⑦研究名：ステージIII-IV期の卵巣明細胞腺癌を対象としたファーストライン治療としてのテムシロリムス+カルボプラチン+パクリタキセルの併用療法に続くテムシロリムスの維持療法による第II相臨床試験

・審議内容：被験者募集用パンフレットについて、その妥当性について審議した。

・判定：承認

(2) 安全性に関する情報の報告

①研究名：サノフィ・アベンティス(株)の依頼による進行固形がん患者を対象とした AVE8062 の3剤併用 第I相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成24年11月29日」

②研究名：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)の依頼による1次、2次または3次治療後に再発もしくは増悪した、日本人のプラチナ製剤感受性を有する進行上皮性卵巣癌、卵管癌または腹膜癌患者を対象とした、BIBF1120の併用第I相試験

安全性に関する情報の報告書「平成24年9月28日」「平成24年10月12日」

「平成24年10月30日」「平成24年11月14日」

③研究名：ファイザー(株)の依頼による PF-04691502, PF-05212384 の第II相試験

安全性に関する情報の報告書「平成24年11月6日」「平成24年11月16日」

④研究名：メルクセローノ(株)の依頼による EMD531444 の第I/II相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成24年11月26日」

⑤研究名：ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ (ALK) 遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌 (NSCLC)患者を対象として PF-02341066 を投与した場合の有効性と安全性を評価する非盲検、単群、第II相試験

安全性に関する情報の報告書「平成24年11月15日」「平成24年11月19日」

⑥研究名：ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ (ALK) 遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌 (NSCLC)患者を対象として PF-02341066 と標準的化学療法剤 (ペメトレキセドまたはドセタキセル) を比較し、その有効性と安全性を評価

する無作為化、非盲検第Ⅲ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 15 日」「平成 24 年 11 月 19 日」

- ⑦研究名：ファイザー㈱の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または逆位を有する肺癌における未治療の非扁平上皮癌患者を対象として CRIZOTINIB とペメトレキセド/シスプラチンまたはペメトレキセド/カルボプラチンを比較し、その有効性と安全性を評価する無作為化、非盲検第Ⅲ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 15 日」「平成 24 年 11 月 19 日」

- ⑧研究名：中外製薬㈱の依頼による EGFR 遺伝子変異を有する非小細胞肺癌患者に対する一次療法としてのベバシズマブ+Ro50-8231(エルロチニブ)併用療法と Ro50-8231 単剤療法を比較する非盲検無作為化比較第Ⅱ相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 15 日」

- ⑨研究名：協和発酵キリン㈱の依頼による進行又は転移性の非小細胞肺癌患者を対象とした ARQ197 とエルロチニブの併用第Ⅲ相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 19 日」「平成 24 年 11 月 28 日」

- ⑩研究名：大鵬薬品工業㈱の依頼によるプラチナ既治療非小細胞肺癌に対するティーエスワンとドセタキセルのランダム化比較第Ⅲ相試験 (EAST-LC)

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 22 日」

- ⑪研究名：ファイザー㈱の依頼による ARCHER1009:1 レジメン以上の化学療法歴を有する進行非小細胞肺癌を対象とした PF-00299804(DACOMITINIB)とエルロチニブの有効性および安全性を比較検討する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 13 日」「平成 24 年 11 月 27 日」

- ⑫研究名：エーザイ㈱の依頼による進行非小細胞肺癌患者を対象としたエリブリンと主治医選択療法の有効性及び安全性を比較する多施設共同の無作為化オープン第 3 相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 29 日」

- ⑬研究名：中外製薬㈱の依頼によるベバシズマブとプラチナ併用化学療法後に増悪を来した非小細胞肺癌(扁平上皮癌を除く)を対象とした標準治療+/-ベバシズマブ併用治療の有効性及び安全性を比較する非盲検ランダム化第Ⅲ相製造販売後臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 27 日」

- ⑭研究名：日本イーライリリー㈱の依頼による第Ⅱ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 27 日」

- ⑮研究名：中外製薬㈱の依頼による肺癌患者を対象とした PRO143966 の第Ⅲ相試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 30 日」
- ⑯研究名：グラクソ・スミスクライン㈱の依頼による切除可能な MAGE-A3 抗原陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした術後補助療法としての AS15 アジュバント添加 recMAGE-A3 がん免疫療法剤の有効性を評価するための、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、第Ⅲ相臨床試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 15 日」
- ⑰研究名：大鵬薬品工業㈱の依頼による転移性乳癌患者を対象とした ABI-007 毎週投与法とドセタキセル 3 週ごと投与法との比較第Ⅱ相試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 20 日」
- ⑱研究名：第一三共㈱の依頼による早期乳癌患者を対象としたデノスマブの第Ⅲ相試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 13 日」「平成 24 年 11 月 26 日」
- ⑲研究名：中外製薬㈱の依頼による RG3502 の HER2 陽性の局所進行・再発又は転移性乳癌患者を対象とした第Ⅱ相臨床試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 28 日」
- ⑳研究名：中外製薬㈱の依頼による乳癌患者を対象とした RO5304020 と RO4368451 の第Ⅲ相試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 28 日」
- ㉑研究名：㈱ヤクルト本社の依頼による胃癌患者を対象とした L-OHP の第Ⅲ相試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 8 日」
- ㉒研究名：ステージⅢ - Ⅳ期の卵巣明細胞腺癌を対象としたファーストライン治療としての テムシロリスム+カルボプラチン+パクリタキセルの併用療法に続くテムシロリスムの維持療法による第Ⅱ相臨床試験
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 11 月 26 日」

以上の安全性に関する情報が提出され、治験の継続実施の妥当性について特に異議なく、それぞれ承認された。